

PROJECT 報告書

プロジェクトNo	2		
プロジェクト名	無人島階段建設&小学校新校舎完成パーティ（ボランティアツアー第2弾）		
プロジェクトリーダー	中津・浅野・中村・吉野 ・吉井	報告書作成者	吉井

事業要領

1、プロジェクトに至る背景

ボランティアツアー第1弾に続く第2弾。

カラバサ島でのゴミ拾い企画の成功で、島開拓のスタートを切る事が出来た。島開拓のスタートをより明確に示すべく、これまで崖を登り降りするという危険な道のりであった島一番の見所、白い灯台「ライトハウス」へ続く道の整備として階段建設プロジェクトを企画。

また、第1弾で国際協力団体 m.a.t と共同で建設サポートをしたプンタブリ小学校の新校舎完成パーティに参加する事となった為、訪れる際に「夏祭り」開催を企画した。インターネット環境の乏しい町に住む小学生達に日本文化を共有する事で、他国の情報共有をすると同時に、楽しみ親しんでもらいたい願いが込められている。

2、プロジェクトの目的

- ① カラバサ島で階段作りを行い、島開拓の始まりをより明確に示す事。
- ② アホイ町長・町の方々とより良い関係・協力体制を構築する事。
- ③ プンタブリ小学校へメンバー全員で出向く事で、今後もサポートを積極的に行う姿勢を示す。
- ④ 小学生が異文化である日本文化を体験し楽しむ事で、将来の可能性の広さを実感してもらう。
- ⑤ 日本食を提供し、今後エミアスが運営するアンテナショップへの誘導のきっかけにする。
- ⑥ 介護コースをスタートさせるクラシハイスクールへの訪問で、エミアス（ワンワールドグループ）との良好な関係を築く事。
- ⑦ 日本から参加するお客様に今後エミアスの一員（会員）になっていただき、費用・運営ともに活動の継続に繋げる事。

3、プロジェクトの対象者及びターゲット

アホイ町の方々。非営利活動に興味のある日本人（特に20代～30代）

事業概要

4、実施日時

2019年8月3日（土）午前9：30集合 ～ 8月6日（火）午前9：00解散 ※イロイロ空港

5、実施場所

フィリピン（イロイロ／アホイ町／カラバサ島／マルブエナ島）

6、外部協力者

【日本】

寄付金援助：石川芳章様（※エミアス内）・黒川進様（ワンワールド）・山本智恵様

【フィリピン】

アホイシティホール（Mayor Jett, Mr.Glenn, Ms.Jan）、クラシハイスクール教員・学生
プンタブリ小学校教員・学生、ワンワールド JLC 学生、

7、参加人数結果報告

参加員数計画：1日目:約 150名 /2日目:約 70名 /3日目:約 300名

実行参加員数：1日目:約 150名 /2日目:約 70名 /3日目:約 300名

参加推進方法及び経過：SNS (Face Book / Instagram)、運営メンバーからの紹介

8、事業決算総額

予算額：321,421.18ペソ

決算額：177,773.24ペソ

残高：143,647.94ペソ

9、事業内容報告

- ・クラシハイスクールでの交流会（学校訪問／歓迎会／学生との交流／バレー大会）
- ・カラバサ島にて階段建設（階段建設／国際交流／会食）
- ・プンタブリ小学校
新校舎完成セレモニー（各スピーチ・ダンス・テープカット）
新校舎完成パーティ（夏祭り：七夕・カレー・流し素麺・かき氷・お菓子屋）
- ・アホイ町長表敬訪問（ヒルトップ訪問／ジェット町長・近隣町長・町の方々との会食）

10、プロジェクトの目的達成の検証

（達成点）

プロジェクトの目的はほぼ達成できた。発起したボランティアツアー第2弾を計画通り実現させた事と、運営・参加者共にアホイ町の方々に敬意を示す姿勢が、目的を達成出来た大きな理由だと検証される。

（未達成点）

・日本人参加者のターゲットである20代が2名だった。前回よりターゲット層の新規参加者が増えた点で進歩しているが、更なる集客努力が引き続き必要。また、新規メンバー登録は無しだった為今後のフォローアップが必要。

・悪天候等によるスケジュール変更に対応した計画不足。

11、プロジェクト実施上の問題点

運営上の問題点：集客が目標を下回った。

予算上の問題点：結果的に予算に余裕があったものの、計画段階では寄付頼りだった。

その他の問題点：プロジェクト実行前までにお客様（=参加者）を含めたコミュニティ形成が出来ていなかった。（※前回の問題点でもあった事後のフォローアップ体制は、LINE アプリで第2弾参加者グループを作る事でコミュニティ形成をし解決出来た）

12、次回への引継ぎ事項

悪天候によりスケジュール変更になった場合の為に、オプションを考えておく。

13、プロジェクト担当者所感

プロジェクトの目的を達成でき、ご参加者の満足度も非常に高く大成功だった。

また、前回の未達成事項で課題でもあった「ボランティアツアー参加者同士のコミュニティ作り」が出来た事も大きな進歩である。

しかしながら、悪天候によるスケジュール変更への対策不足があった為、次回改善すべき点として12. 次回への引き継ぎ事項へ記載した。

14、関係資料

1		5	
2		6	
3		7	
4		8	